

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

499

生活衛生安全推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	3	生活衛生対策の推進
取組方針	1	衛生管理等の促進と監視の強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	保健衛生費		
	目	環境衛生費		
	大事業	環境衛生事業		
中事業	生活衛生安全推進事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	生活保健課	山西 啓之 488-5113
事業実施の根拠法令	理容師法、美容師法、クリーニング業法等		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	生活衛生関連施設の指導監視を行い衛生水準の向上に努める。また、ねずみや衛生害虫の駆除等により感染症予防に寄与する。		理容師法、美容師法、クリーニング業法、旅館業法、公衆浴場法、興行場法、特定建築物における衛生的環境の確保に関する法律、墓地・埋葬等に関する法律、温泉法(温泉利用)、水道法(専用水道・簡易専用水)、遊泳用プール等に係る衛生指導を行い生活衛生関連施設の衛生水準の確保と向上に努める。また、ねずみや衛生害虫の駆除等を行う。			
事業内容		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
		指導監視対象施設数 1 2 1 6 指導監視施設数 9 7 3 (内訳) 生活衛生営業施設 2 9 0 水道法関連施設 5 5 4 特定建築物 9 6 その他 3 3	指導監視対象施設数 1 2 2 7 指導監視施設数 8 5 3 (内訳) 生活衛生営業施設 1 6 1 水道法関連施設 5 5 3 特定建築物 1 0 5 その他 3 4	指導監視対象施設数 1 2 2 6 指導監視施設数 8 8 2 (内訳) 生活衛生営業施設 1 8 5 水道法関連施設 5 6 4 特定建築物 1 0 3 その他 3 0	生活衛生関連施設の指導監視及びねずみや衛生害虫の駆除。	生活衛生関連施設の指導監視及びねずみや衛生害虫の駆除。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	4,165	3,312	2,483	2,176	2,461	2,132	3,132	0	3,132	0
伸び率(%)	61.6%	36.2%	△40.4%	△34.3%	△0.9%	△2%	27.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	32,861	33,666	29,938	34,396	22,186	24,745	24,900	0	24,900
	正規職員以外	0	0	0	0	1,409	1,409	1,713	0	1,713
	小計	32,861	33,666	29,938	34,396	23,595	26,154	26,613	0	26,613
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	1,500	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	6,309	6,299	6,353	6,062	6,309	6,375	6,309	0	6,309	0
一般財源(税等)	△3,644	△3,987	△3,870	△3,886	△3,848	△4,243	△3,177	0	△3,177	0
所要人数(人)	正規職員	4.08	4.18	3.76	4.32	2.86	3.19	3.21	0.00	3.21
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.74	0.74	0.90	0.00	0.90
主な予算内訳	消耗品費 6 4 6 千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
指導監視数		件	目標値	1216	1227	1226	1227	1227
			実績値	973	853	882		
			達成度(%)	80%	69.5%	71.9%	%	%
殺鼠剤配付量		kg	目標値					
			実績値	29.50	33.0	27		
			達成度(%)	0%	%	%	%	%
指導監視実施率(指導監視数/総施設数)	指導監視対象施設数/総施設数	%	目標値	40	40	40	40	40
			実績値	39.3	39.4	39		
			達成度(%)	98%	98%	97.5%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民生活に対する安全及び衛生に関する要望は高まっている。職員が不足しているが、業務分担等に配慮し、今後も生活衛生関係施設に関する適正な監視・指導を継続して行く。また、ねずみ族や衛生害虫の駆除に関しては、市民からの要望も多い。引き続き、より効果的、効率的な方法を検討しながら対応を行う。
見直し・改善内容	現状維持 簡易専用水道立入検査は、厚生労働省の登録検査機関でも検査可能であるが、和歌山県内には登録検査機関が存在しない。